

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M211N205	病理学 ( Pathology )	専門基礎科目 健康科学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	水・3	川村和弘 (診断病理学講座) 内線：5683 E-mail：kaz-kawa@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

病理学とは、全身・臓器において疾病として現れる構造的・機能的異常を理解する学問です。医学用語を正しく理解し、疾病を原因や成り立ちをもとに整理し、病気の本質について理解を深め、医療従事者として知っておくべき医学の基礎を学びます。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 各種疾病の成因・病態を科学的・系統的に分類できる	○		○	○	○	○	
2. 腫瘍の種類・特徴・進展・病因を科学的・系統的に分類できる	○		○	○	○	○	
3. 医学用語を正しく用いる	○		○	○	○	○	
4. 考える看護を実践するための基本的な知識を習得する	○		○	○	○	○	

#### 【授業の内容】

1	総論1：細胞障害，組織修復・再生，代謝障害，ビタミン欠乏症・過剰症
2	総論2：腫瘍
3	総論3：循環障害
4	総論4：炎症，免疫，膠原病と感染症
5	総論5：先天異常と遺伝子異常，老化と死，小児病理，皮膚
6	各論1：循環器
7	各論2：泌尿器
8	各論3：呼吸器
9	各論4：生殖器
10	各論5：造血器
11	各論6：運動器
12	各論7：消化管疾患
13	各論8：肝胆膵疾患
14	各論9：内分泌疾患
15	各論10：中枢神経疾患

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	穴埋め資料，復習，小テスト	
B：意見の表現・交換	○	文章作成	
C：応用志向			
D：知識の活用・創造	○	穴埋め資料，復習，小テスト	

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	授業で扱う各項目について、配布資料を基に簡単に調べておく (0.5h)
事後学修	配布資料・教科書・小テストを用い授業で学習した内容を復習する (0.5h)

#### 【教科書】

教科書は使用せず，プリントを使用します。

#### 【参考書】

特に指定はありません。北川昌伸『標準病理学』医学書院，2023，ISBN9784260050425，笹野公伸『エッセンシャル病理学』南江堂，2020，ISBN9784524249343 などがあります。

**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
小テスト	10%	○	○	○	○
期末試験	90%	○	○	○	○

**【注意事項】** 毎回、出席状況の確認を行います。**【備考】**

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	病理医	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	
教員以外の指導に関わる実務経験者	病理医	
実務経験をいかした教育内容	病理学の基礎から、大学病院、関連施設での診療で経験される最新の医学を学ぶ。	
授業形態	面接授業	